

定住自立圏共生ビジョン懇談会（第1回:全体会） 会議録

- 1 開催日時 平成 25 年 11 月 21 日（木）10 時～11 時 20 分
- 2 開催場所 倉吉市役所議会会議室（本庁舎 3 階）
- 3 出席状況
 - （1）委員 出席者 12 名、欠席者 6 名 ※別添 委員名簿のとおり
 - （2）事務局 3 名
 - （3）オブザーバー 2 名（琴浦町、北栄町）
- 4 目的 次に掲げる事項の報告、協議を行うため懇談会を開催したもの。
 - （1）定住自立圏共生ビジョン掲載事業の取組状況について
 - （2）湖東定住自立圏との災害時相互支援協定の締結について
 - （3）第 2 次定住自立圏共生ビジョンの策定について
- 5 次第
 - （1）開会
 - （2）会長あいさつ
 - （3）委員の紹介（交代及び欠席について）
 - （4）報告事項（1）定住自立圏共生ビジョン掲載事業の取組状況について
（2）湖東定住自立圏との災害時相互支援協定の締結について
 - （5）協議事項（1）第 2 次定住自立圏共生ビジョンの策定について
 - （6）その他
 - （7）閉会
- 6 資料 送付資料のとおり
- 7 結果 本日の会議の結果、次のとおり報告及び検討を行った。
 - （1）定住自立圏共生ビジョン掲載事業の取組状況について
事務局より事業内容及び 24 年度の取組実績及び 25 年度の取組予定について説明を行った。
 - （2）湖東定住自立圏との災害時相互支援協定の締結について
締結にかかるこれまでの経過及び内容等について報告を行った。
 - （3）第 2 次定住自立圏共生ビジョンの策定について
次期定住自立圏共生ビジョンの策定（平成 27～31 年度）についての今後の方向性、スケジュール等についての説明を行い、今年度 12 月から来年度にかけて取り組んでいくことを確認した。

8 会議内容（要旨） 下記のとおり

1. 開会 10:00

【事務局】

おはようございます。それでは、定刻になりましたので、只今より、『第1回倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会』を開会させていただきます。本日は、大変お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

それでは、開会に先立ちまして、山田会長の方からご挨拶をいただきたいと思います。

2. 会長あいさつ

【会長】

改めまして、おはようございます。ビジョン懇談会にお集まりいただきありがとうございます。ビジョン懇談会を思い返したいんですが、皆様のお手元にあります共生ビジョンですが、「発進！とっとり中部～絆と自立、癒しと活力を育む圏域～」をテーマに平成23年3月に、平成22～26年度までの5年計画で策定いたしました。狙いは、単に取組を1市4町でやるというものではなく、中部全体が一つになってやることでより効果が上がるであろう、そしてこのテーマのような圏域を作りたいということでございました。今日は、平成25年度までの進捗状況を確認する、これが1つ大きな目的。それとこのビジョンが26年度までの計画ですので、それ以降どうするか、第2次の計画作りについて少し協議していきたいというのが今日の目的でございます。11時半までの設定でございますが、どうぞ忌憚のない意見を出していただければありがたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

3. 委員の紹介

【事務局】

それでは、会議に入る前に、昨年10月に懇談会を開催して以降、委員の交代がありましたので、ご紹介をさせていただきたいと思います。

資料に名簿を付けておりますが、今年の7月に鳥取県中部地域公共交通協議会の委員の交代がありました。これまで日ノ丸自動車倉吉営業所所長の山下委員様に参画いただいておりますが、この度から同じく日ノ丸自動車倉吉営業所所長の福永様にビジョン懇談会の第1号委員としてご参画いただくことになりましたので、ご報告させていただきます。

また、本日は欠席でございますが、6月に公益社団法人鳥取県中部医師会の会長でいらっしゃいました池田様が退任されたことに伴い、このたび新しく「公益社団法人鳥取県中部医師会 会長 松田隆（まつだりゅう）」様が、第1号委員としてご参画いただくことになりましたことをご報告いたします。

なお、本日ご欠席されておられますのは、名簿の上の方から

○寺谷委員 ○小谷委員 ○岩崎委員 ○高塚委員 ○福井委員

でございますので、ご報告させていただきます。

それでは、会議に入らせていただく前に、事務局から会議について連絡事項を申し上げます。

1 点目としまして、本ビジョン懇談会は委員 18 名で構成されております。本日は 12 名のご出席をいただいておりますので、本懇談会設置要綱第 6 条第 2 項の開催要件であります「委員の過半数の出席」を満たしておりますことをご報告いたします。

本日の日程であります。先程会長からもありましたように、報告事項、協議事項等をご協議いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それではこれ以降、設置要綱第 6 条第 1 項の規定により、ここからの進行を山田会長様をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4. 報告事項

【会長】

それでは、次第 4 報告事項として「定住自立圏共生ビジョン掲載事業の取組状況について」事務局の方から説明をお願いします。

【事務局】

総合政策課で定住自立圏の担当をしております福井と申します。よろしくお願いいたします。

(配布資料の確認)

資料 1 (A3 版) については、定住自立圏共生ビジョンに掲載している取組事業の決算額及び予算額の一覧となっております。こちらと合わせまして、資料 2 (冊子のもの) に基づき説明させていただきます。

説 明

(資料 2 により、事業内容及び 24 年度の取組実績、25 年度の取組予定を説明)

<委員からの質疑・意見>

(谷本委員)

P31 地産地消拡大事業で「中部食のみやこフェスティバル」「食のみやこ鳥取県フェスタ」などを実施されていて、これはものすごい賑わいだと思うんですが、一年に一回で終わらせず、これを一つの事業として、通年こういうものを開催し地元のお客さんだけでなく、県外のお客さんにもどんどんこういうものに来てもらって、地元農家の方が一生懸命作っておられる農産品を中心にして、B 級グルメだったり、この土地の良さや他には負けないものがたくさんあると思いますので、地元の農産物なんかは地元のお客さんがあられだけ来られるわけですから、県外の方にももっと PRしないと本当にもったいない。これを常設化するような計画を立ててやる方が良い。ラグビー場をあんなところに置かなくても、他でもやれるわけですから、ああいいういいところは常設の食のみやこ鳥取県フェスタの中部版を設置して、どんどん観光客を呼んで買い出し旅行に来てもらう。倉吉に行ったら本当にいい物がある、新鮮なものが安くて買える、それを利用した食べ物もあるということ PR することができれば、鳥取県中部の強さを発揮できると思う。地元の人にあられだけの実績があるわけですから、まずは常設化すること。

農産物を作られる人にも弾みがつき、どんどんいい物を作っていこうということになる。

野菜工場というものが、全国的に起こっていますが、例えば鳥取県中部で野菜工場を作り、それが全国トップだというくらいのをやれば、大雨や竜巻などの異常気象が頻繁に起きている中、もちろん中部の土地を利用した農産物も大切だが、気象に影響されないような野菜工場をやってそれをどんどん全国に発信して、日本で野菜工場のナンバー1は鳥取県の中部だと具体的に言えるようになれば、年中野菜も買え観光客にもどんどん来てもらって、農業をした人もここに来て野菜工場を勉強して、中部でやるんだという方向になっていくべきだと思います。

(福井恒委員)

P34～35 田舎暮らし体験プログラムの連携・実施事業で今年度もNPO法人養生の郷に委託され、田舎暮らしの応援団もお手伝いさせていただきましたが、非常に効果が出ておりまして、参加された方の中で、倉吉に引っ越したいという方がいらっしゃるようになって、実際に11月に引っ越されて、実は今日も午後から来られることになっている。このようなことがありますので、予算的にもう少しボリュームを付けていただいて、年1・2回ではなくて、もう少しあってもいいのではないかと考えています。今回中身のある企画になっていて効果も出ました。それともう一点、実施が倉吉、琴浦だけというのが非常に残念だなというところがあります。今やっていることが参考になれば、今やっていない町でも協力をしていきたいと思う。三朝町さんは地域おこし協力隊が決まり、ひとつのいいきっかけになるのではないかと思います。移住定住の促進、また体験プログラムなどを考えてみられてはと思います。

・(山田会長)

ケーブルテレビを相互にちゃんと見られるようにしていただきたい。倉吉市と東伯郡と連携していない。そちらの方も進めていただきたいと思います。

(上本委員)

P23 企業誘致の推進：関西事務所を活用した圏域への企業誘致推進事業というのがあるんですが、倉吉では5件の誘致に成功されたとあったのですが、現在関西事務所は倉吉市と琴浦町があり、琴浦町は現在中止ということですが、これについて広域連合の体制として関西事務所に出向くということではできないのでしょうか。いわゆる中部はひとつという形で動いているのに、なんで倉吉と琴浦しかないのか、やっぱり広域連合の中での取組みとしてやるべきではないか。先ほど福井委員さんも言われましたが、いわゆるIターン・Uターン者の件を含めて情報発信するには広域連合として関西地区に派遣する方が有効ではないのだろうかと思います。もしよろしければ検討お願いします。

(山田学長)

今日この会議は、いろんなご意見を伺って、それを載せられるものは載せていく。大きいものは、次の2次の計画に反映させていく、そういう議論になっていくものでございます。事務局ですぐに答えられるものばかりではございませんので、ご意見をいただき活かせるものは活かしていきたい、ということになります。それでは、また後でご意見を伺いますので、時間もありますので、次の報告事項「(2) 湖東定住自立圏との災害時相互支援協定の締結について」

に移らせていただきたいと思います。

【事務局】

それでは、資料3について説明をさせていただきます。

説 明

(資料3により、湖東定住自立圏との防災協定の内容等の説明)

<委員からの質疑・意見>

(上本委員)

これに全然異議はないですが、北栄町は湖南市とやっているんじゃないですか。

【事務局】

北栄町は湖南市とこの協定とは別に友好交流協定を結んでいます。倉吉市も他の自治体と防災協定を結んでおり、これにプラスする形で今回の防災協定を行ったもの。資料に付けている新聞記事にもありますが、定住自立圏同士でこういった協定を結ぶのは全国初の試みとのことで、先進的な事例になっていくのかなと思っています。

5. 協議事項

(1) 第2次定住自立圏共生ビジョンの策定について

【会長】

それでは、協議事項として、「(1) 第2次定住自立圏共生ビジョンの策定について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料4については、現行ビジョンの期間が平成22～26年度までの5年間であり、次期ビジョンの策定に向けて平成25年12月から来年度末までにかけて、修正等を行っていくものでございます。

説 明

(資料4により、次期定住自立圏共生ビジョンの策定について説明)

【会長】

こういうような趣旨で第2次と書いてあるんですけど、次期のビジョンを策定していきますが、大前提に政策担当部会が開かれると。先ほど説明をされた資料2のいろいろな取組みを充実・追加するのがあるいは削除するのか、協議した意見を組み入れていただいて、始めの案とするもの。そういう意味を込めまして、示されたスケジュールや今後のビジョンに入れたらというご意見があったら伺わせていただくと助かります。現在の進捗状況と重ね合わせながら、2次に向けてのご意見がありましたらお願いします。

先ほどあったように従来あったものを1回から2回にとか常設化といった意見などいろんな角度で言っていただけたらと思います。

<委員からの質疑・意見>

(遠藤委員)

地産地消の推進で、これまでの事業で食のみやこフェスティバルとかゆりはま市といったイベントがこの中に入っているという状況は分かるんですが、これはお願いになるんですけど、ビジョンの中の事業としてという意識が全くなく、ビジョンの中でやってるんだというものが、それぞれ実施しているところはあまり意識がないんじゃないかと。言い方は悪いが、この定住自立圏の事業にただ組み込んでいるという形に近い気がしています。この辺ぜひ、本来はビジョンの中から生まれてくるイベント、定住自立圏のビジョンの中で動いているということを1市4町にできるだけ周知した形でのイベントになった方がいいんじゃないかと思います。

(谷本委員)

今の件は、前回の時にも出ていたような気がするんですけど、今までやっていた事業をビジョンと結び付けてやるようなことは意味がないんじゃないかと。新しい定住圏のビジョンの基にこういうことをやっていこうとか活性化していこうということではいけませんと、僕らが見ていて、定住自立圏ビジョンというものの顔が見えてこないわけです。こうしていろんな事業をやっていますということなんですけども、この定住自立圏ビジョンが出発点でやった事業がどれだけあるものだろうか、やっぱり活発にどんどんやると見えるんですよね、いろんなところで。新聞やテレビに出たり噂に上がったりだとか。やっぱり見えてくると思うんですけど、全然見えてこない。進捗管理シートを見させていただいて、検討協議、検討協議が多い、検討協議じゃなんら前に進まない。検討協議よりやっぱりやって成果を出して、よかったら伸ばしていく。良くなければ止めるということが必要。成果をもっと出して行って、これをやってどういう結果だったのか、例えば、観光客がどれだけ増えましたとか。見るとパンフレット作成しましたとか今までやっていたことばかりじゃないですか。それなら、ここにどれだけのお金を使ってどれだけ観光客が増えましたというところをチェックしませんと目に見えてこない。この中でも利用者が何人、企業誘致が何件ありましたとか成果が出ているものもあるんですが、ほとんど成果が出ていない。やっぱり成果を出して、チェックしてその成果をどんどん大きくしていくことをやりませんと折角の予算の意味がないんじゃないか、そう思います。

(上本委員)

この第2次の平成27～31年度というものは、補助金ありきじゃないんですけども、交付税というものは確保されているものなんですか。実際ほんとにできるものなんですか。

【事務局】

国の交付税の確保については期限というものが言っていないということがあるので、これは確保されるものだと考えているが、国の方でも動きがあって、交付税の算定替えだとかいろいろな議論がある中で、これも一つの話題となるものであるが、どうにかしてそれに代わるものということで考えている段階なので何かしら違う形にはなるかもしれないが、ベースとしてはこの定住自立圏を進めてきたという3年の経過があるので、そここのところをベースにして考えたいということを総務省は言っていますので、必ずしも8,000万円が確保されるということはまだわから

ない状況ではあります。ただ、そういう検討もされているのは事実です。

(上本委員)

大事なことですので、進めていくべきだと思うが、交付税自体が確保できるものなのかを確認したかったということが1つ。

それと資料4のP2の中のグループ分けですが、大まかこれでいいと思いますけども、先ほど言われました、共生ビジョンP65からの「今後の検討課題」(網掛け部分)ですが、これはまだ全然検討されていないということだが、私農協にいるものですから、50年に一度の農政改革みたいなことが今出ている中で、たぶん5年先の中部圏域の産業構造というのは、農業が衰退する可能性も無きにしもあらずだと思うんです。そういう中で独自産業も含めて、網掛け部分を見るにどうも取り組みにくいものばかりが並んでいる。大事なことだけと取り組むにはどうしたらいいかということがあるんですけど、先ほど示された政策担当部会の中、いわゆる行政の中で、きちんと整理されて、取り組んでいただければというふうに思います。

(楠本委員)

政策担当部会というのは、各市町の担当者であるが、職員のことですか。委員の中でもいろいろな専門分野の方がおられるので、そういった人が入っての方がいいんじゃないかと思います。

【事務局】

このビジョンを最初に作った時に、ものすごい項目なので一度にビジョン懇談会で意見をいただいたりというのなかなか難しいので、項目分けして委員さんに部会として議論していただいたという経過もありますので、政策担当部会でベース作りと過去の反省も含めてやってもらって、時期を見て、委員さんにも意見をいただければと思っています。政策担当部会の中に委員さんにも参画して協力していただけるという認識でよいですか。

(全体)

その方がいいんじゃないだろうか。

【事務局】

できれば行政だけの意見ではなくて、市民の方の意見も当然あった方がいいと思いますので、その方向で検討させてください。

(会長)

それはより広がりがあるんじゃないかと思います。

(楠本委員)

ただ、意見も言いたいところが何箇所かあるので、会を一度に開かれると参加できませんので、ずらして開催していただければとそれぞれに出られるなと思います。

【事務局】

その場合、資料提供などは随時させていただきたいと思います。

(会長)

あと、中部でやろうとしていることの一つに遠藤委員さんも絡んでますが、ウォーキングルート構想というのがありまして、それを一つ入れ込んでおもしろいかもしれない。そんなにお金がかかることでもないです。観光産業との絡みも大きいものがあります。

(森本委員)

進捗管理シートP6の若年性認知症の関係ですが、ケアマネの会の中でどれだけ若年性の認知症の方がいらっしゃるかというと、実際にはそんなにいない、少ないという声を聞いています。どれだけ地域に若年性の認知症の方が埋まっているかという部分を拾い出していきたいですし、中部で設置予定となっておりますが、それなりの環境の工夫だったり、スタッフの教育の部分にも力を入れていただいて、選定していただければと思います。

(遠藤委員)

産業振興のところで、外に打って出るという部分が経済的には一番効果があるんじゃないかと思うのですが、地産地消はどちらかというと独自産業的なものですので、外に打って出るための政策、そこら辺の項目がひとつ、具体的にあったらいいんじゃないかなと思います。

6. その他

【会長】

事務局から何かありますか。

【事務局】

本日も意見をいただいたものにつきましては、各市町、担当課へ伝えていきたいと考えております。ありがとうございました。

【会長】

本日はどうもありがとうございました。「中部はひとつ」というのぼり旗がいろんなところに立っておりますけども、中部全体の力を活かす、その一つにこのビジョン懇談会の大きな働きがあればいいなと思いますので、次の計画に向けてまたどうぞ忌憚のない意見をいただきたいと思います。

7. 閉会 11:20